

園長だより NO69

緊急事態宣言の解除、制限の緩和、幾度と繰り返されるこの状況、正直、いつまで続くのだろうかと思いがめぐる。解除を決定するもそそくさと出てくる言葉は第6波に備えなさい、出口の見えないこの状況に今後もひたすら感染対策を講じ生活を維持していく他ないただ、人はその環境に対応できる秀でた力を持っている。少々、コロナに慣れてしまった感じはあるものの、尊い命を守り続けるには慣れは禁物であると自分に言い聞かせていかなくてはなりません。

「 With コロナ / 保育の質 」

コロナ渦で子ども達の育ちを支えていくために保育園はどのような保育が求められるのでしょうか。 コロナウイルスの感染発生(国内では2020.1月)からあと数カ月で2年になります。保育では感染対策の影響で制限がかけられているものを知恵をしぼり、工夫し、従前の環境に近づけるよう取り組んできました。

十数年前にさかのぼるが その頃から「待機児童の問題」が盛んに取り上げられ、保育(保育施設)の量の確保、拡充に重点が置かれた、どんどんと施設ができるが、保育士が確保できない状況が生まれた、それと同時に保育の質の低下が相次いで報告されていた。

じっくり丁寧に保育士を育てることができない環境下に置かれた保育園は多くありました。職員の経験構成も理想の形と程遠い若年層主体の園もあった。当然、その日一日をどう乗り切るか、日々、時間に追われ、子ども達の生活を穏やかに朗らかに過ごすことなどできないという保育園も存在していた。

現在も時よりメディアで取り上げられる保育士による園児虐待も起こった。子どもの生活を支え共に育ちたいと願って保育士になった方々が劣悪な保育環境で豹変し穏やかさを失ってしまう姿もみられた。

そもそも日本の保育の質に関する取り組みは海外に比べれば遅れている(かなり遅れている)状況です。2019年に保育料の無償化が始まりましたが日本の場合、少子化対策の一環で議論が進められていました。少子化では困る、この先の日本の国益は保たれない、なんとしても出生率を上げ、願わくば就労者を増やし税収をあげようと考えているように私は思えた。

海外では幼児教育の発展こそが国を支えると考え無償化と共に子どもの育つ環境を一体的に整えようとする制度になっていた。

厚労省の検討会でも保育の質が議論され方向性が示されてきました。「保育の質は子どもが得られる経験の豊かさとそれを支える保育の実践や人的・物的環境など多層的で多様な要素により成り立つ」と定義されました。

少々、気難しい文ですが前進したことが伝わってきます。

その昔は(現在もですが)保育の質についてもっばら設置基準が云々といわれ保育士の確保や建物の構造などが取り上げられていました。その昔と比べれば具合的な保育実践、内容に目を向け、質を担保しよう、向上させようとすることを目指していることは改善に踏み込んだということです。

新型コロナウイルスの影響も踏まえた保育の質の向上をこれからも現場の保育士の地道な取り組みにより実現できることを目指していきたいと思います。



「 乳児の表現 」

まだまだ概念が定まらない時期には子どもたちが目をキラキラさせ、心がいろいろな刺激を受け、いろいろな感覚を感じてもらいたいと思っています。

手間暇かかっても、子ども達が「やりたいな」「やってみたいな」と思う気持ちを大切にしたいと思っています。自ら動いてみる、自分の思いが行動(行為)を支えている。言葉の獲得



※1歳児いろいろ感じて

はまだまだこれからでも、言葉にならない言葉(動きやまなざし)をかかわる大人(保育者)は感じてあげること大切なんです。

常に肯定的にみてあげることも育ちを保障する大切なことです。

先日、1歳児(もも組)の子ども達が絵の具を使いあそんだ。 私はいつ頃やるのかなと今か今かと楽しみにしていました。

保育の成功?失敗?なんて気にしていません。子ども達が見せる姿がみたいのです。とかく絵画(絵を描く)はうまい下手で見てしまう傾向があります。子ども達の描画にうまい下手はありません。※今は描く以前の段階



特に年齢の低い時期は自分の内なる心が感じたことを表出することなんです。素材に触れた瞬間に心が踊る、それぞれが感じたことが様々な形になり現れてくるんです。

そばにいる大人がひとり、ひとりの内面を感じて、思いを紡いでいくことが大切だと思います。低年齢で取り組んでいる(出会わせている)園はあまりありません。汚れることを避け、大人が常に寄り添い、手ほどきし描かせているところが多い事でしょう。



※2歳児の姿

2021.9.30

豊かな表現を生み出す土壌には探求心、好奇心旺盛な保育士の存在があり、常に子どもの理解に努める姿勢が不可欠です。志を継続していきましょう

(園長 廣部 信隆)